

最優秀賞

## 自分を好きになるゲーム

合田 加奈子 (大学2年生：神奈川県)

日本人は謙虚な人が多く、自分の良さをアピールすることに慣れていません。自分の良いところに気が付くと、それは自分の自信につながります。これは自分を好きになるためのゲームです。このゲームは一人ではなく、自分をよく知っている友人や同僚、クラスメートなど二人以上で行います。

始めに一つの卵があなたに与えられます。この生物はプレイヤーの分身です。この卵には真っ白なボールのような生き物が入っています。この生物は1か月しか寿命がありません。この1か月がプレイ時間です。

ゲームのルールは簡単です。誰かが良いことをしたり自分も見習いたいなどと思ったら、その旨を伝えるコメントを添えてボタンを押すと、匿名でそのコメントが相手に伝わります。コメントはどんな些細なことでも構いません。

ボタンには三種類（優しい、気づかい、感謝）あり、どの種類のボタンをたくさん押すかによって、相手プレイヤーの生物の色や形、鳴き声が変わります。リアルタイムでわかるのはボタンを押してもらった回数だけです。その回数はレベルとして表示されます。

またプレイヤーは自分のことをどのように思っているのかを判断するために、ゲームを始める前にエゴグラムなどを活用した質問に答えてもらいます。

この生物の寿命（ゲームエンド）を迎えると、コメント内にある言葉の共通を元に自動でグループ分けされ、集計結果からプレイヤーの長所とその具体的な理由がわかるようになります。ゲームプレイ前の自分と、他者から見た自分を比較することができます。

自分で自分のいいところを見つけることは難しいことです。なぜなら人は自分の短所ばかりを気にする傾向があるからです。そのため、他者に長所を教えてもらうこのゲームを提案いたしました。